

2023年度 第1四半期決算説明会

2023年8月29日

【証券コード 4401】



2023年度 決算説明

第1四半期

2023年4月1日～2023年6月30日

代表取締役社長兼社長執行役員
城詰 秀尊

- 1. 2023年度 第1四半期連結業績 … P 3
- 2. 2023年度 連結業績予想の修正 … P13
- 3. ご参考 … P17



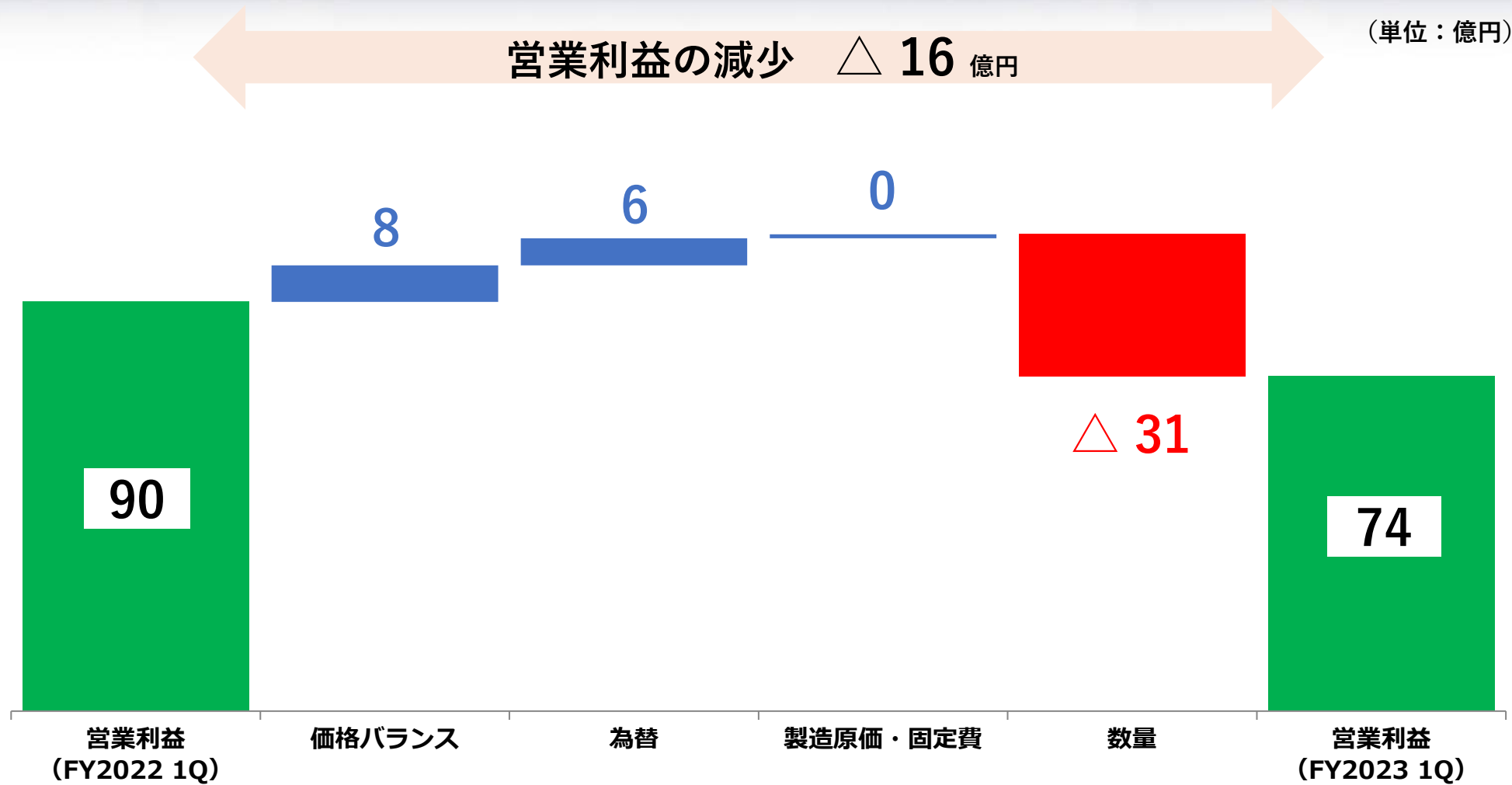
1. 2023年度 第1四半期連結業績

2023年度 第1四半期連結業績の概要

(単位：億円)

	2022年度 第1四半期	2023年度 第1四半期	増減	増減率 (%)
売上高	1,017	945	△ 71	△ 7.0
営業利益	90	74	△ 16	△ 18.1
経常利益	104	81	△ 22	△ 21.9
四半期利益	61	51	△ 10	△ 16.6
1株利益	59.6円	50.0円	△ 9.6円	

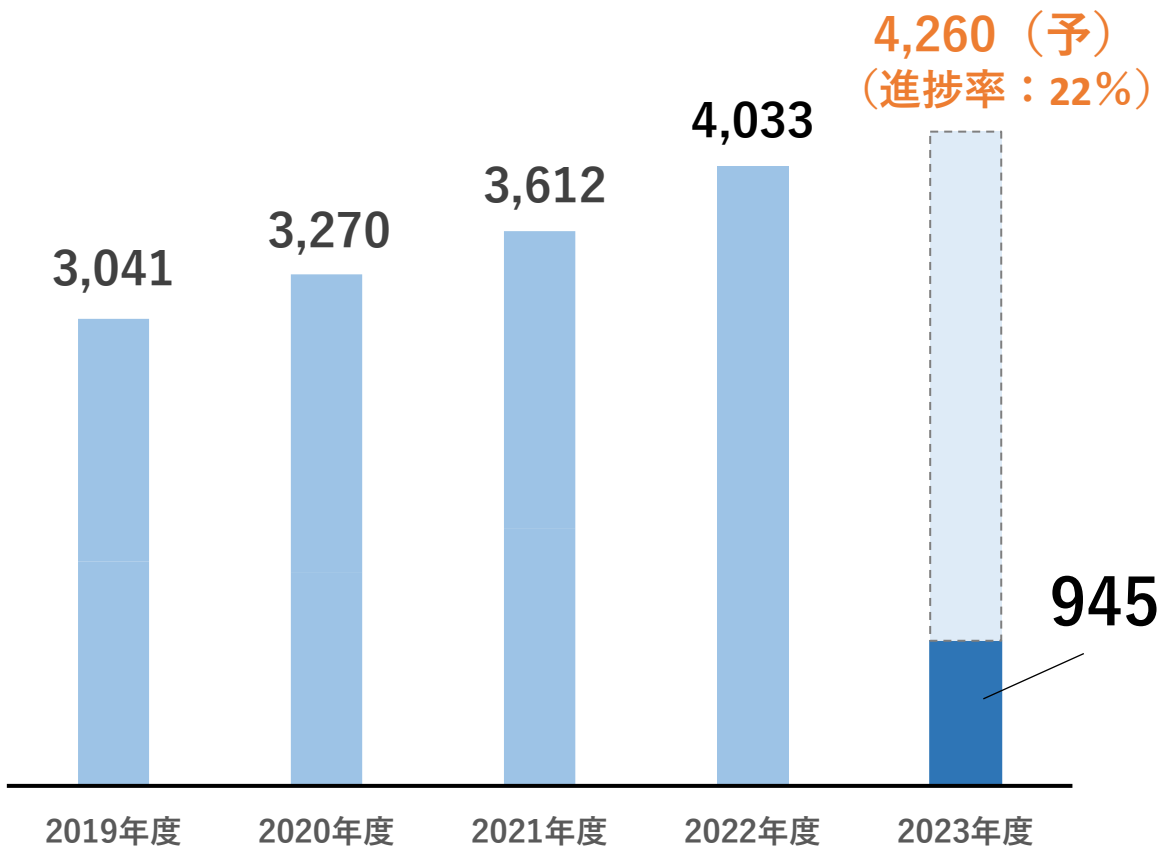
注) 金額は億円未満を切り捨て、1株利益は小数点第2位を四捨五入して表示



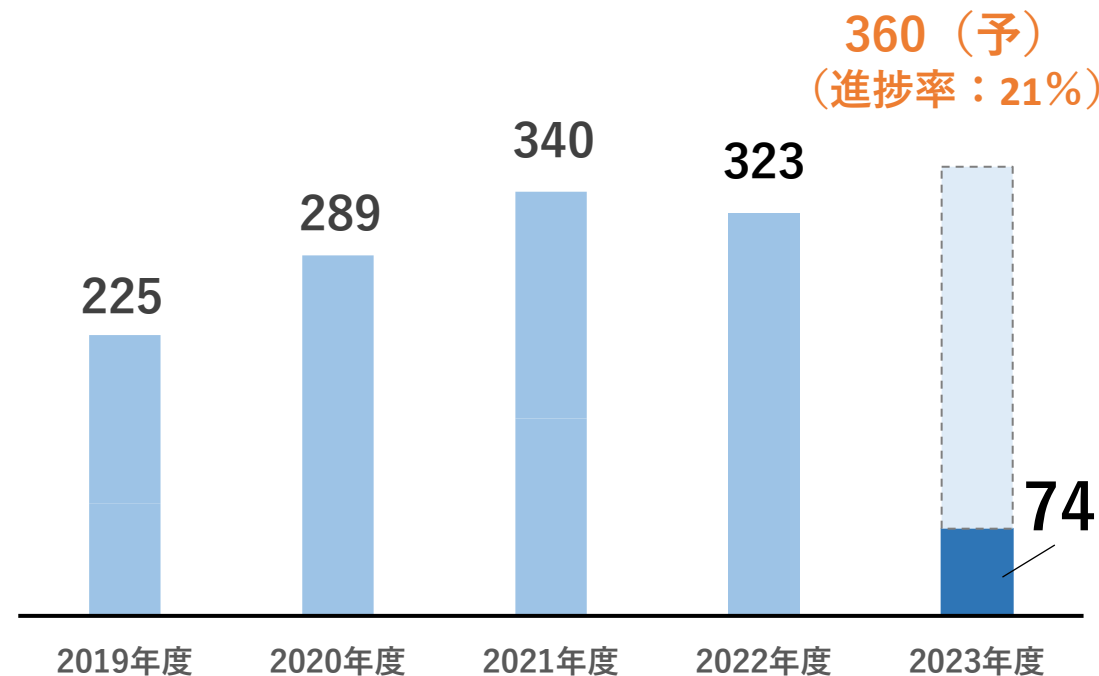
注) 金額は億円未満を切り捨てて表示

(単位：億円)

売上高



営業利益



注1) 金額は億円未満を切り捨てて表示

注2) 2021年度は会計方針の変更による遡及適用後の数値を記載

2023年度 第1 四半期連結業績 (セグメント別)

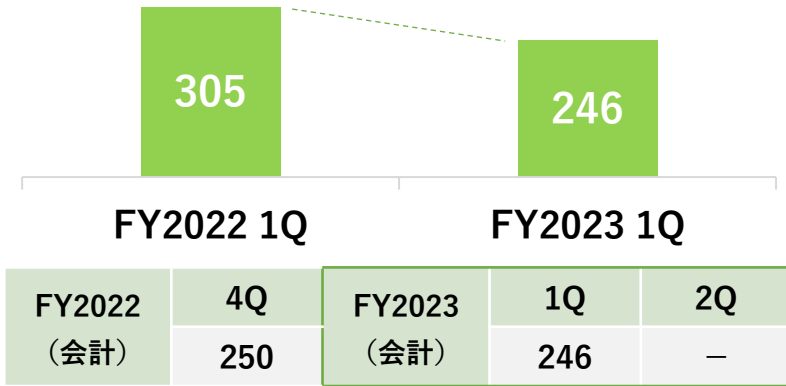
	2022年度 第1 四半期	2023年度 第1 四半期	増減	増減率 (%)
売上高	1,017	945	△ 71	△ 7.0
化学品	555	497	△ 58	△ 10.4
樹脂添加剤	305	246	△ 58	△ 19.3
情報・電子化学品	91	94	2	2.8
機能化学品	158	157	△ 1	△ 1.1
食品	202	207	4	2.4
ライフサイエンス	240	221	△ 18	△ 7.6
その他	18	18	0	1.9
営業利益	90	74	△ 16	△ 18.1
化学品	72	55	△ 16	△ 23.2
樹脂添加剤	28	17	△ 10	△ 36.8
情報・電子化学品	25	25	△ 0	△ 2.7
機能化学品	17	12	△ 5	△ 31.1
食品	▲ 8	3	12	-
ライフサイエンス	25	11	△ 14	△ 55.0
その他	1	3	1	99.9

(単位：億円)

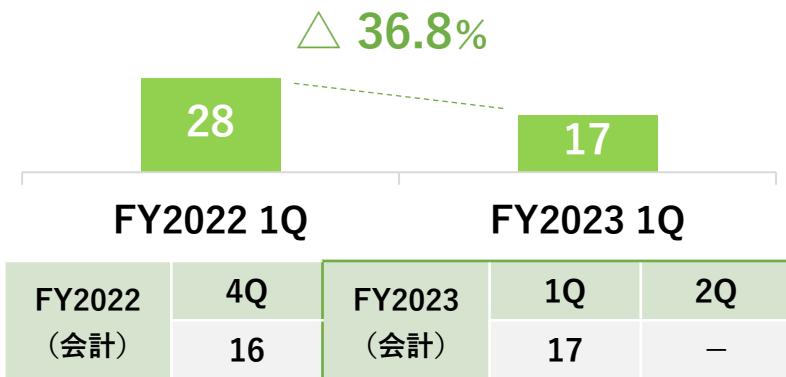
注) 金額は億円未満を切り捨てて表示

化学品事業（樹脂添加剤）

◆ 売上高 △ 19.3% （単位：億円）



◆ 営業利益 △ 36.8% （単位：億円）



注) 金額は億円未満を切り捨てて表示

売上高の主な要因（対前年同期）

- ・ ワンパック顆粒添加剤や酸化防止剤は、欧州を中心に競争が激化し販売低調
- ・ 北米や中国で住宅内装材の需要が停滞し、塩ビ用安定剤の販売低調

◆ プラスチック製品全般

低調 ワンパック顆粒添加剤、酸化防止剤

◆ 家電（筐体）

低調 エンジニアリングプラスチック用難燃剤

◆ 建材・インフラ

低調 塩ビ用安定剤

◆ 自動車

堅調 核剤、光安定剤

◆ 食品包装・医療

堅調 透明化剤

営業利益の主な要因（対前年同期）

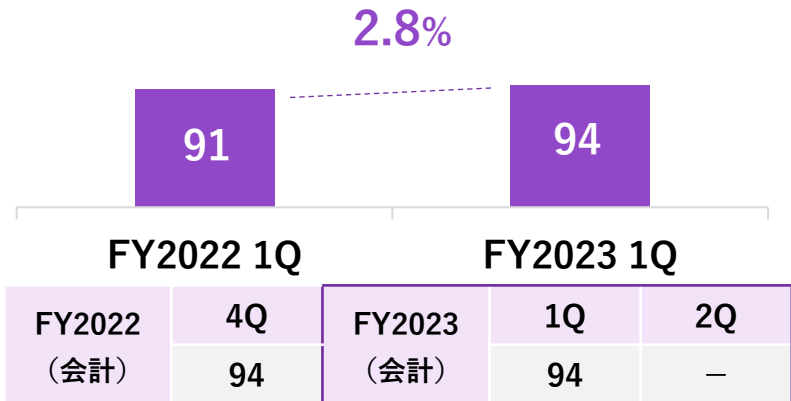
数量
△ 12億円

為替
1億円

化学品事業（情報・電子化学品）

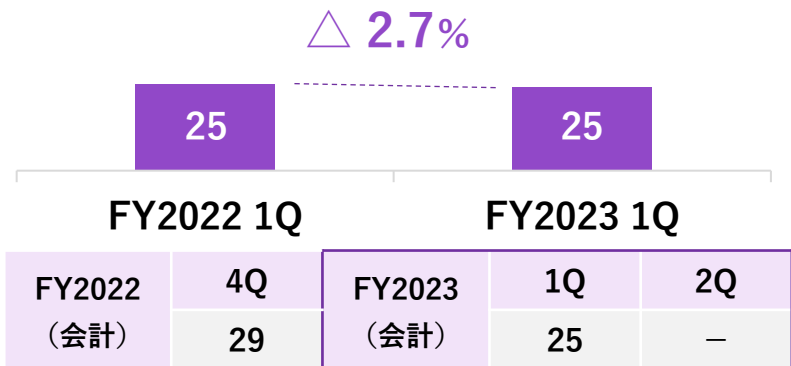
◆ 売上高

（単位：億円）



◆ 営業利益

（単位：億円）



注) 金額は億円未満を切り捨てて表示

売上高の主な要因（対前年同期）

スマホやパソコン等の生産調整に伴うディスプレイや電子機器向け材料の販売減少を、先端半導体向け材料の販売好調でカバーし増収

◆ 半導体

好調

先端DRAM向け 高誘電材料

低調

NAND向け 製品

先端リソグラフィ用途 光酸発生剤

◆ ディ스플레이

堅調

カラーフィルター向け 光重合開始剤

液晶パネル向け エッチング薬液

低調

光学フィルム向け 光硬化樹脂

営業利益の主な要因（対前年同期）

固定費他

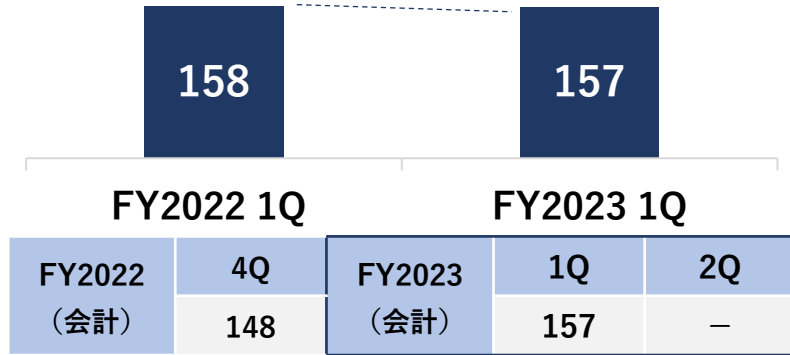
△ 1億円

化学品事業（機能化学品）

◆ 売上高

(単位：億円)

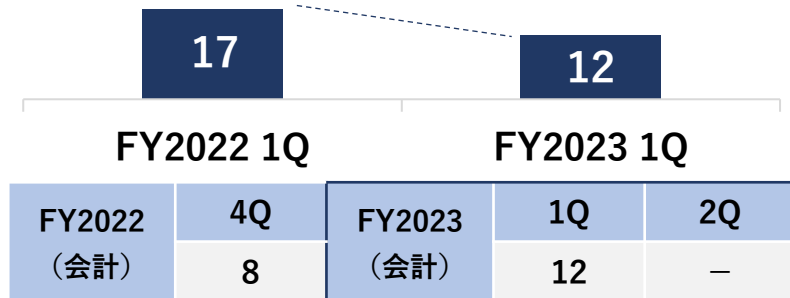
△ 1.1%



◆ 営業利益

(単位：億円)

△ 31.1%



注) 金額は億円未満を切り捨てて表示

売上高の主な要因（対前年同期）

- ・ 米国を中心にエンジンオイル用潤滑油添加剤の販売拡大
- ・ 自動車、家電、スマホ等の需要減により、水系樹脂やエポキシ樹脂の販売低調

◆ 自動車、家電、スマホ・PC

低調 水系樹脂、エポキシ樹脂

◆ 一般工業用

低調 プロピレングリコール類、過酸化製品

◆ 化粧品

低調 界面活性剤

◆ 自動車

好調 エンジンオイル用潤滑油添加剤

堅調 構造用接着剤向け エポキシ樹脂
車載用電子部品向け エポキシ樹脂接着剤

営業利益の主な要因（対前年同期）

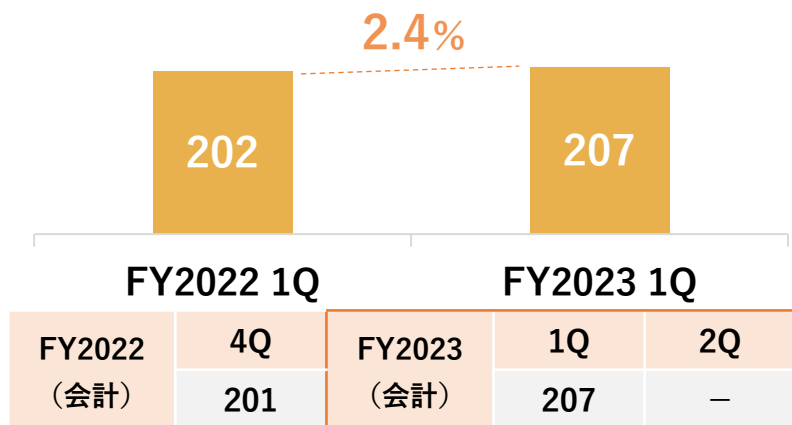
数量
△ 9億円

為替
2億円

製造原価他
1億円

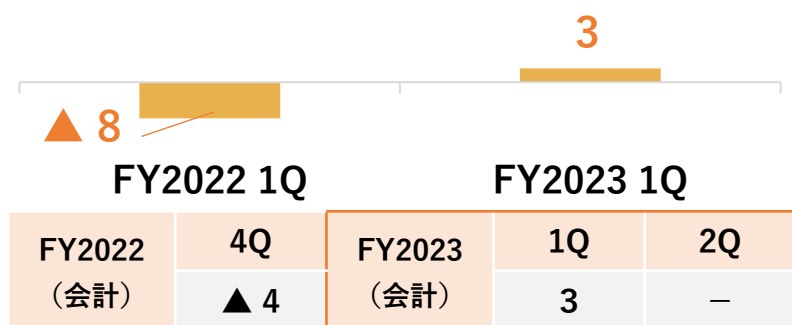
◆ 売上高

(単位：億円)



◆ 営業利益

(単位：億円)



注) 金額は億円未満を切り捨てて表示

売上高の主な要因 (対前年同期)

- ・パン等のおいしさの持続と消費期限延長に寄与する機能性マーガリン「マーベラス」シリーズの販売が引き続き堅調
- ・中国の需要回復、東南アジアでの販売堅調により、海外の売上高・利益が改善

◆ 土産菓子

好調 マーガリン、フィリング

◆ 製パン、製菓

堅調 機能性マーガリン「マーベラス」シリーズ

低調 汎用油脂 (マーガリン、ショートニング)

◆ プラントベースフード

採用拡大 「デリプランツ」シリーズ

営業利益の主な要因 (対前年同期)

価格バランス
7億円

数量
2億円

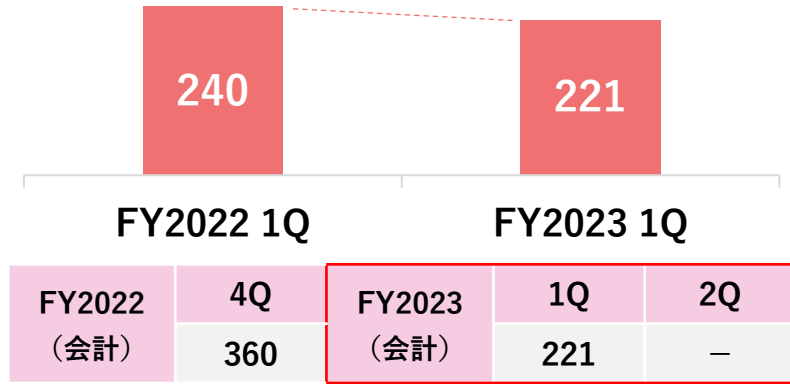
製造原価他
2億円

ライフサイエンス事業（日本農薬）

◆ 売上高

(単位：億円)

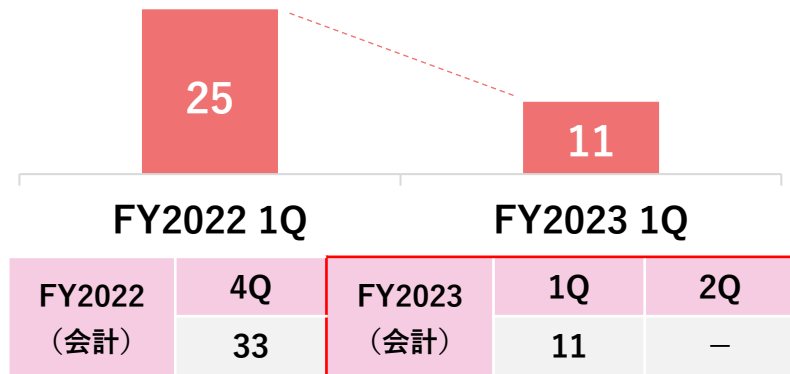
△ 7.6%



◆ 営業利益

(単位：億円)

△ 55.0%



注) 金額は億円未満を切り捨てて表示

売上高の主な要因（対前年同期）

- ・北米で寒冷な気候が続き、害虫の発生が少なかったことから殺虫剤の需要減少
- ・インドで雨季の遅れ等の天候不順により、農薬の散布機会が減少し販売低調

◆ 農薬

低調

北米（殺虫剤）

インド（農薬全般）

日本 ※流通在庫の影響

好調

ブラジル（サトウキビ向け 除草剤）

◆ 医薬品

低調

爪白癬分野

外用抗真菌剤「ルリコナゾール」

営業利益の主な要因（対前年同期）

数量
△ 14億円固定費他
△ 2億円為替
1億円価格バランス
1億円

A decorative border consisting of various geometric shapes in red and blue, including triangles, squares, circles, and rectangles, arranged in a pattern around the edges of the page.

2. 2023年度 連結業績予想の修正

2023年度 第2四半期連結累計期間の業績予想を修正

(単位：億円)	前回発表予想 (2023/5/12)			今回修正予想 (2023/8/9)				前年度実績
	上期	下期	通期	1Q実績	上期	下期	通期	2022年度
売上高	2,020	2,240	4,260	945	1,910	2,350	4,260	4,033
営業利益	150	210	360	74	133	227	360	323
経常利益	147	208	355	81	137	218	355	325
当期利益	89	121	210	51	82	128	210	167
1株利益	86.8円	118.0円	204.8円	50.0円	80.0円	124.8円	204.8円	163.3円

		期初の前提	変更後の前提
為替	円/\$	130.00	138.00
	円/€	138.00	149.00
ナフサ	円/KL	67,000	64,000

注) 金額は億円未満を切り捨て、1株利益は小数点第2位を四捨五入して表示

2023年度 セグメント別連結業績予想

(単位：億円)	前回発表予想			今回修正予想			増減	前年度実績	
	上期	下期	通期 (a)	1Q実績	上期	下期	通期 (b)		額 (b)-(a)
売上高	2,020	2,240	4,260	945	1,910	2,350	4,260	—	4,033
化学品	1,117	1,172	2,289	497	1,004	1,285	2,289	—	2,117
樹脂添加剤	567	573	1,140	246	474	666	1,140	—	1,113
情報・電子化学品	200	235	435	94	193	242	435	—	363
機能化学品	350	364	714	157	337	377	714	—	640
食品	417	450	867	207	420	447	867	—	825
ライフサイエンス	450	590	1,040	221	450	590	1,040	—	1,020
その他	36	28	64	18	36	28	64	—	70
営業利益	150	210	360	74	133	227	360	—	323
化学品	129	140	269	55	108	154	263	△ 6	262
樹脂添加剤	45	45	90	17	34	55	90	—	92
情報・電子化学品	53	64	117	25	48	66	115	△ 2	110
機能化学品	31	31	62	12	25	32	58	△ 4	59
食品	5	8	13	3	7	11	19	6	▲ 24
ライフサイエンス	14	59	73	11	14	59	73	—	77
その他	2	3	5	3	3	1	5	—	7

注) 金額は億円未満を切り捨てて表示

トピックス

インデックスへの組み入れ

当社株式（証券コード：4401）

2023年8月

2023年度

「JPX日経インデックス400」
の構成銘柄に初選定



外部団体による表彰

メタルフリー硫黄系ポリマー正極材「SPAN」の開発と
世界最軽量二次電池の実証

2023年6月

■ 産経新聞社「第36回 独創性を拓く 先端技術大賞」
経済産業大臣賞を受賞

■ 新化学技術推進協会「第22回GSC賞*1」
奨励賞を受賞

*1 グリーン・サステイナブルケミストリー

カーボンニュートラル レーザー硬化型接着システム*2

2023年6月

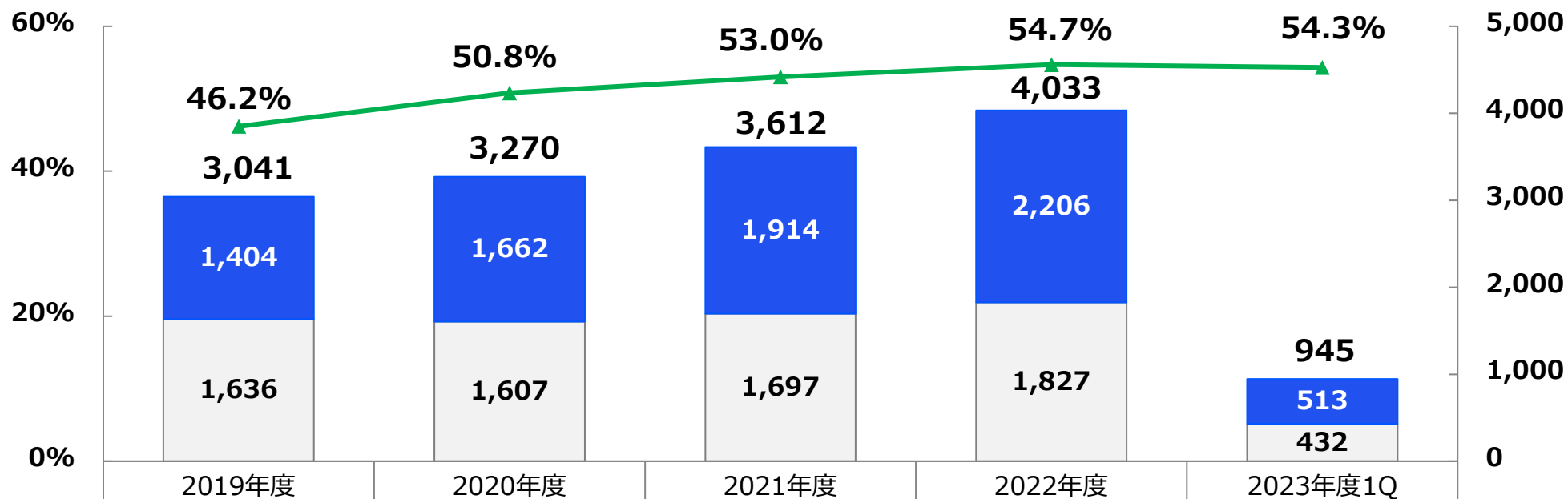
■ 日本接着学会「**第45回 技術賞**」 受賞

*2 「レーザー硬化型接着システム」は株式会社デンソーとの共同開発、両社での受賞です

3. ご参考

ご参考 | 海外売上高

(単位：億円)



■ 海外売上高	1,404	1,662	1,914	2,206	513
■ 国内売上高	1,636	1,607	1,697	1,827	432
▲ 海外売上高比率	46.2%	50.8%	53.0%	54.7%	54.3%
売上高	3,041	3,270	3,612	4,033	945

注1) 金額は億円未満を切り捨てて表示

注2) 2021年度は会計方針の変更による遡及適用後の数値を記載

ご参考 | 中期経営計画『ADX 2023』進捗状況

	2021年度 実績 (中計 初年度)	2022年度 実績 (中計 2年目)	2023年度 予想 (中計 最終年度)	2023年度 目標 (中計 最終年度)
営業利益	340億円	323億円	360億円	420億円
R O E	9.9%	6.6%	8.0%	9%
設備投資額	146億円/年	204億円/年	155億円/年	500億円/3カ年
	505億円/3カ年			
配当性向	30.5%	42.9%	39.1%	30%以上維持
年間配当予想	70円/1株	70円/1株	80円/1株	

注1) 金額は億円未満を切り捨てて表示

注2) 2021年度実績は会計方針の変更による遡及適用後の数値を記載

The logo features a stylized letter 'A' on the left, composed of a red upper half and a blue lower half. To the right of the 'A' is the word 'DEKA' in a bold, red, italicized sans-serif font.

ADEKA

Add Goodness



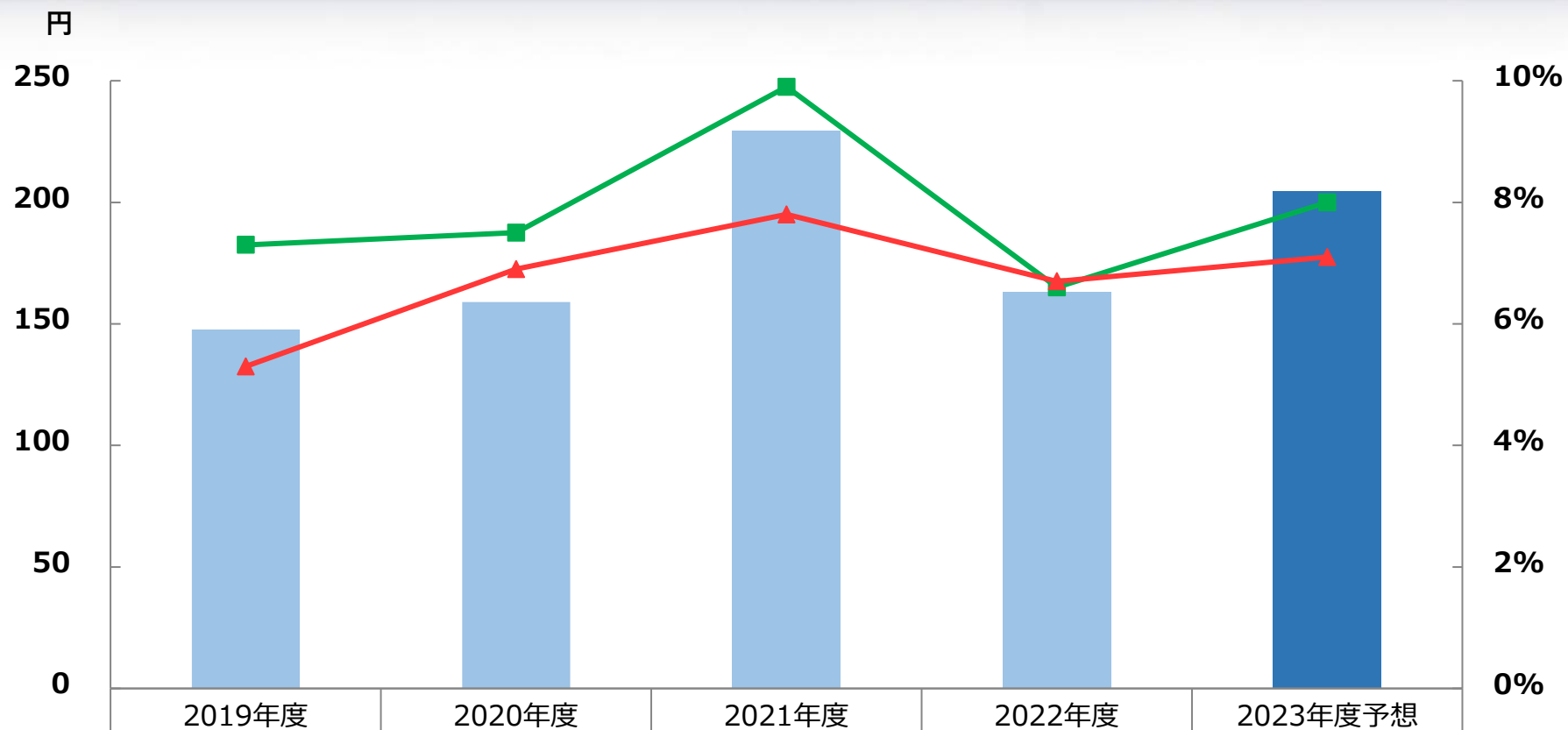
2023年度 第1四半期 決算説明補足資料

1. 連結決算補足資料
2. 経営指標等
3. ご参考

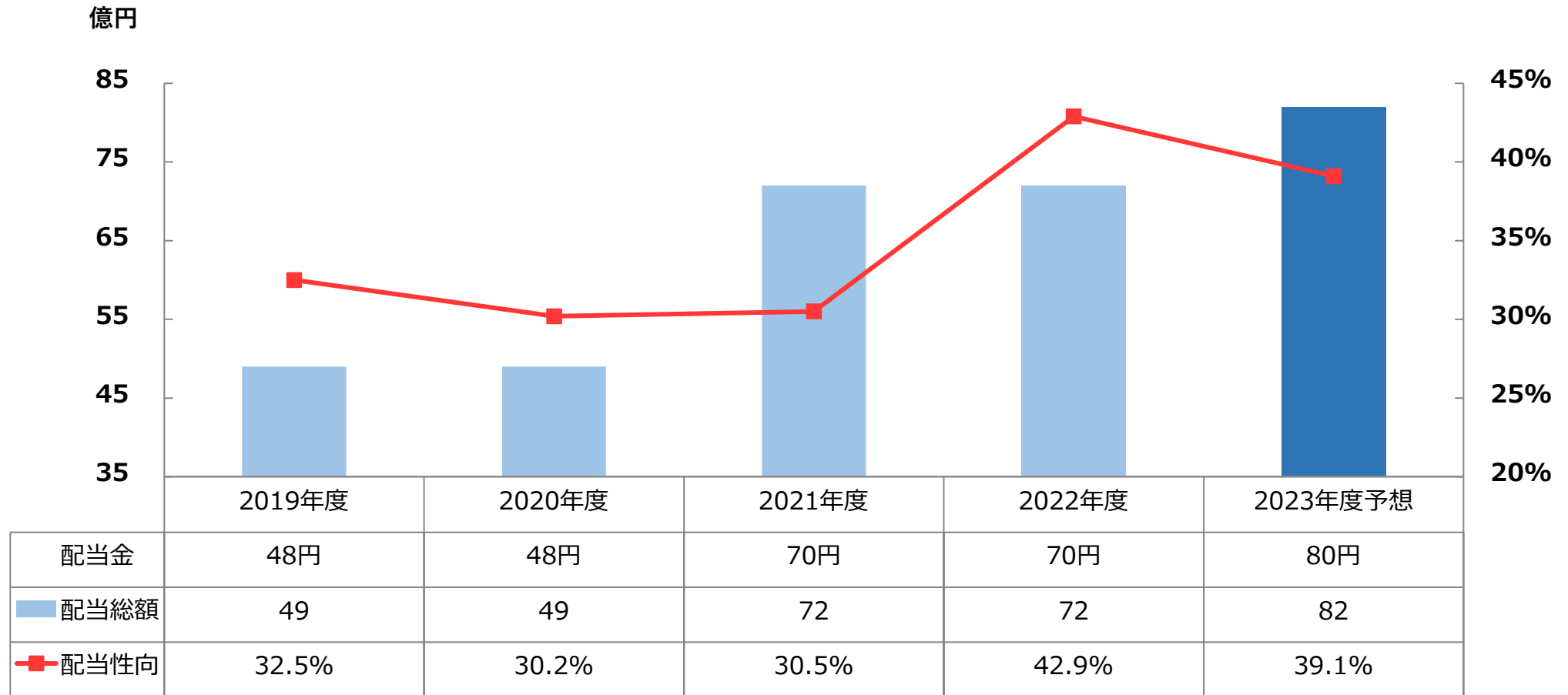
1 連結貸借対照表

(単位：億円)	23/3末	23/6末	増減		23/3末	23/6末	増減
流動資産	3,154	3,135	△ 19	負債	1,883	1,866	△ 16
現金及び預金	811	749	△ 61	流動負債	1,294	1,347	52
受取手形及び売掛金等	996	1,013	17	固定負債	588	519	△ 69
棚卸資産	1,167	1,201	34	純資産	3,117	3,184	67
その他	179	170	△ 8	株主資本	2,387	2,390	3
固定資産	1,846	1,916	69	資本金	230	230	-
有形固定資産	1,194	1,215	20	資本剰余金	201	201	0
無形固定資産	180	177	△ 3	利益剰余金	1,978	1,993	15
投資その他の資産	471	523	52	自己株式	△ 23	△ 35	△ 12
				その他の包括利益累計額	222	280	58
				非支配株主持分	507	513	5
資産合計	5,000	5,051	50	負債・純資産合計	5,000	5,051	50

注) 金額は億円未満を切り捨てて表示

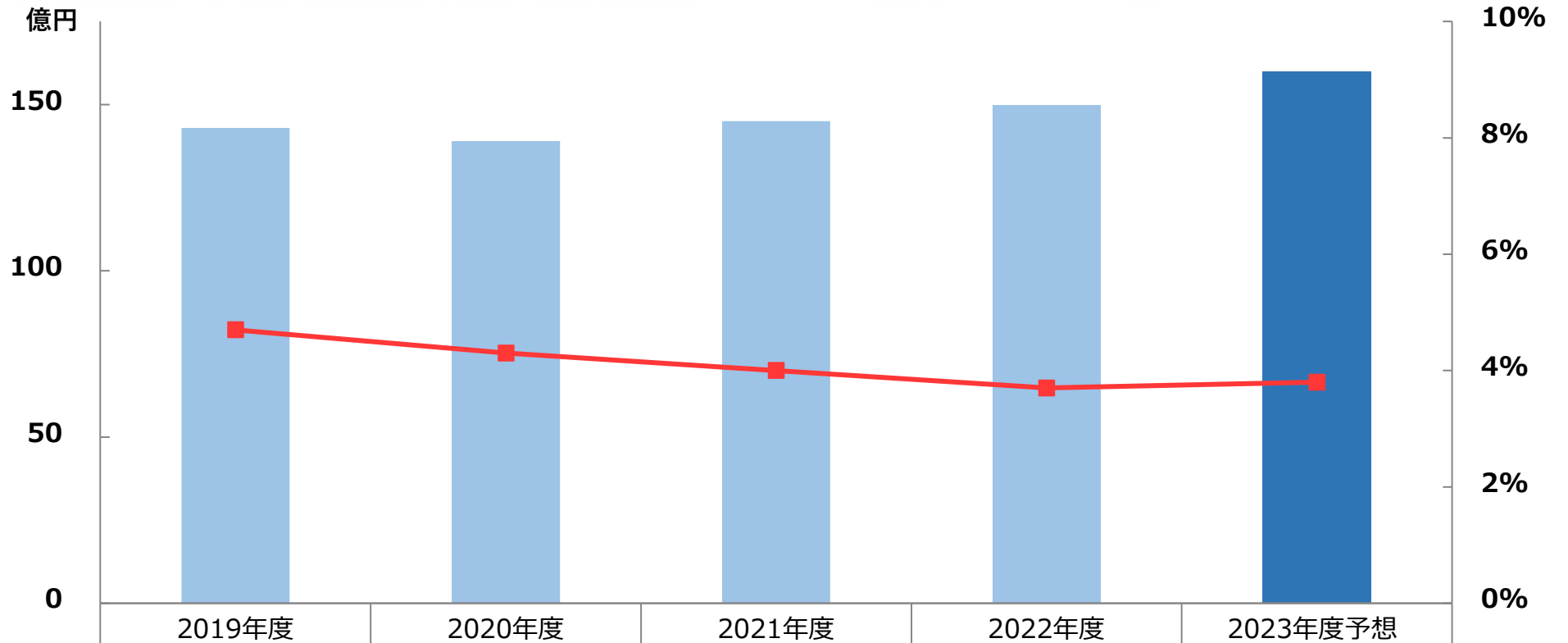


注) 2021年度は会計方針の変更による遡及適用後の数値を記載



注1) 配当総額は億円未満を切り捨てて表示

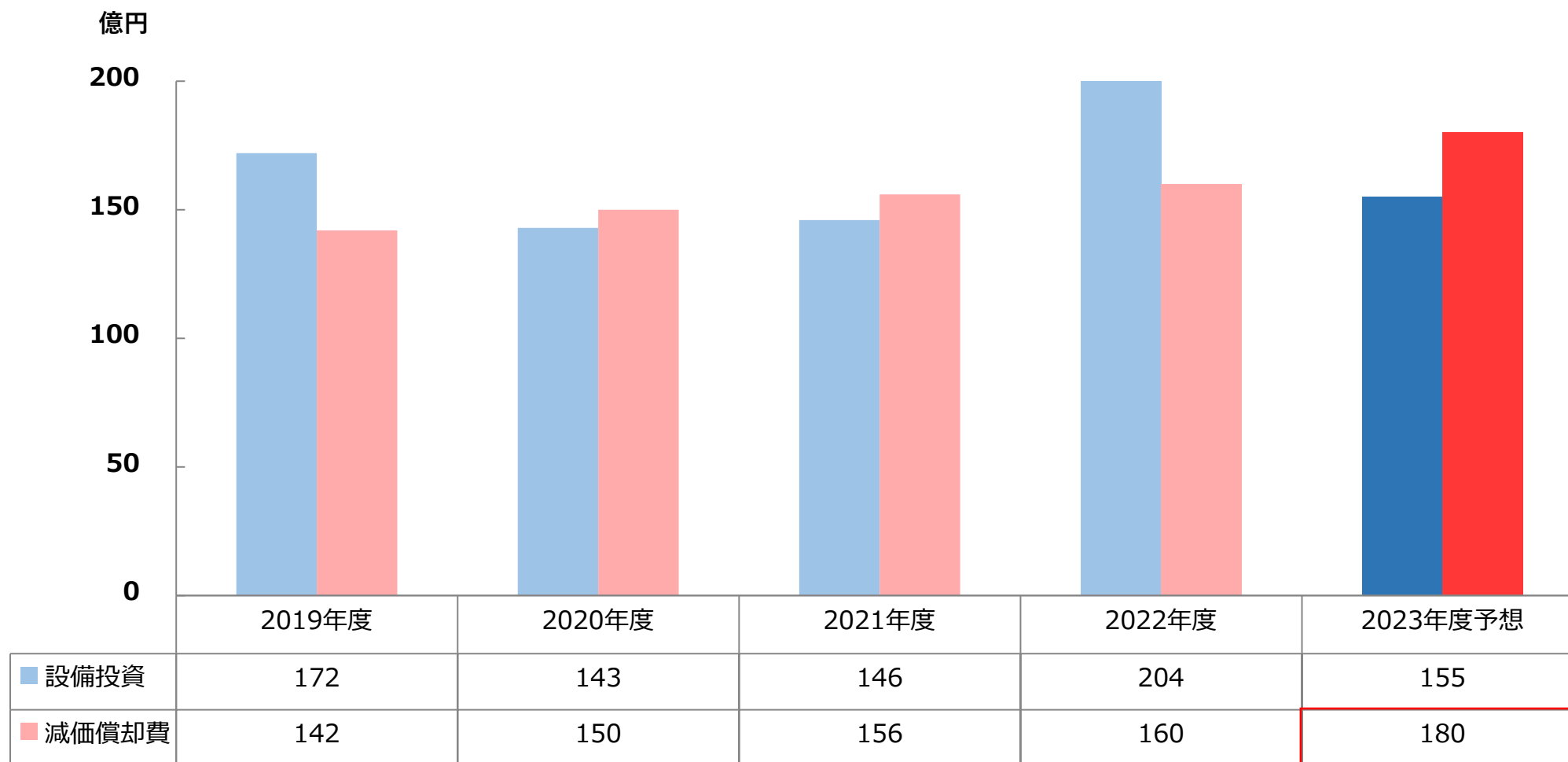
注2) 2021年度の配当性向は会計方針の変更による遡及適用後の数値を記載



■ 研究開発費	143	139	145	150	160
■ 売上高研究開発費比率	4.7%	4.3%	4.0%	3.7%	3.8%

注1) 研究開発費は億円未満を切り捨てて表示

注2) 2021年度の売上高研究開発費比率は会計方針の変更による遡及適用後の数値を記載



修正
(前回186)

注) 設備投資、減価償却費は億円未満を切り捨てて表示

3 事業区分別主力製品

事業区分		主要製品	
報告セグメント	化学品事業	樹脂添加剤	ポリオレフィン用添加剤、塩ビ用安定剤・可塑剤、難燃剤、その他
		情報・電子化学品	高純度半導体材料、電子回路基板エッチング装置及び薬剤、光硬化樹脂、光開始剤、画像材料、その他
		機能化学品	エポキシ樹脂、ポリウレタン原料、水系樹脂、界面活性剤、潤滑油添加剤、厨房用洗浄剤、化粧品原料、プロピレングリコール類、過酸化水素及び誘導品、水膨張性シール材、その他
	食品事業	マーガリン類、ショートニング、チョコレート用油脂、フライ・調理用油脂、プラントベースフード、ホイップクリーム、練込用クリーム、フィリング類、マヨネーズ・ドレッシング、機能性食品素材、その他	
	ライフサイエンス事業	農薬、医薬品、医薬部外品、動物用医薬品、木材用薬品、医療材料、その他	
その他	設備プラントの設計、工事及び工事管理、設備メンテナンス、物流業、倉庫業、車輛等リース、不動産業、保険代理業、その他		

この資料に記載されている業績予想、事業計画は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び種々の前提に基づき作成したものであり、実際の結果は今後生ずる様々な要因によって、予想、計画と異なる場合があります。